

スタートアップガイド

NEC

CBZ-004314-001-01

2018年5月2版

シンククライアント US120f

はじめにお読みください





本書は、必要な時にすぐ参照できるよう、大切に保管をしてください。  
本製品をご使用になる前に本書を必ずお読みください。

### 使用上のご注意







本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

## 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。  
本書には本製品のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。  
本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。  
それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<b>警告</b>	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
	<b>注意</b>	火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。


	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	例：感電注意 
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	例：分解禁止 
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	例：プラグを抜け 


(本書での表示例)

注意を促す記号


危険に対する注意の内容


危険の程度を表す用語





**注意**









**指定以外のコンセントに差し込まない**  
指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外の電源を使うと火災や漏電の原因となります。

## 本書と警告ラベルで使用する記号とその内容


注意の喚起

	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	爆発または破裂のおそれがあることを示します。		けがするおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止


	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。
	指定された場所以外には触らないでください。感電や火傷などの傷害のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や発火のおそれがあります。
	火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制


	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
	必ず接地してください。感電や火災のおそれがあります。		

## 安全上のご注意


### 一般的な注意事項




**警告**




**人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない**  
本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。







**煙や異臭、異音が生じたまま使用しない**  
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。




**針金や金属片を差し込まない**  
通気孔やUSBコネクタ等のすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。


### 注意






**日本国外で使用しない**  
本製品は、日本国内用として製造・販売しています。日本国外では使用できません。本製品を日本国外で使用すると火災や感電の原因となります。







**本製品内に水や異物を入れない**  
本製品内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

### 電源・電源コードに関する注意事項





**警告**






**ぬれた手で電源プラグを持たない**  
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。







**アース線をガス管につがなない**  
アース線は絶対にガス管につがなないでください。ガス爆発の原因になります。




### 注意







**指定以外のコンセントに差し込まない**  
指定された電圧でアース付のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電の原因となります。また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本製品の電源仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。  
クラス0 I のアース線付き電源コードセットを使用するときは、接地接続は必ず、電源プラグを電源につなく前に行ってください。接地接続を外すときは、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。





**たこ足配線にしない**  
コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。






**電源プラグを中途半端に差し込まない**  
電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。







**指定以外の電源コードを使わない**  
本製品に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。


- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードをステープラなどで固定しない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。)





**添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない**  
添付の電源コードは本製品に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。







**ケーブル部分を持って引き抜かない**  
ケーブルを抜くときはコネクタ部分を持ってまっすぐに引き抜いてください。ケーブル部分を持って引っ張ったりコネクタ部分に無理な力を加えたりするとケーブル部分が破損し、火災や感電の原因となります。

## 安全上のご注意 - つづき -


### 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

**注意**




**指定以外の場所に設置・保管しない**  
本製品を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。


- ほこりの多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 不安定な場所。




**腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない**  
腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。本機内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがあるときは、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

### 運用中の注意事項


**注意**




**雷が鳴ったら触らない**  
雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて本製品には触れないでください。火災や感電の原因となります。




**ペットを近づけない**  
本製品にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が本製品内部に入ると火災や感電の原因となります。



**通気開口部をふさがない**  
内部に熱がこもり、発煙、発火の原因となるおそれがあります。





**ヘッドフォンを耳に当てたまま接続しない**  
ヘッドフォンを耳に当てたままヘッドフォン端子に接続しないでください。耳を痛めるおそれがあります。また、接続前にボリュームが大きくなっていないことを確認してください。




**通気開口部に注意する**  
通気開口部とその周辺は、室温よりも高い温度となっております。長時間触れていると、低温やけどのおそれがありますので、肌の弱い方などは特にご注意ください。

### 無線機能使用に関する注意事項


**警告**



**埋め込み型心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用する**  
埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品を心臓ペースメーカー装着部から30cm以上離して使用してください。電波により影響を受けるおそれがあります。





**医療機関など本製品の使用を禁止した区域では本製品の電源または無線機能をOFFにする**  
医療機関などで本製品の使用を禁止した区域では、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。また、医療機関などで本製品の使用を認めた区域でも、近くで医療機器が使用されている場合には、本製品の電源をOFFにするか、無線LANなどの無線機能をOFFにしてください。医療機器に影響を与え、事故の原因になることがあります。詳しい内容については各医療機関にお問い合わせください。




**他の機器に電波障害を引き起こした場合は本製品の無線機能をOFFにする**  
本製品の無線機能を使用中に、他の機器に電波障害を引き起こした場合は、速やかに無線機能をOFFにするか、本製品の使用を中止してください。機器に影響を与え、誤動作による事故の原因になるおそれがあります。

### お手入れ・取り扱いに関する注意事項

**警告**




**自分で分解・修理・改造はしない**  
絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。



**プラグを差し込んだまま取り扱わない**  
お手入れや装置に接続されているケーブルの取り付け/取り外しは、本製品の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま本製品内の部品に触ると感電するおそれがあります。  
また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったまま、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

## ユーザーズガイドについて

ユーザーズガイドは以下のホームページに公開されております。  
<http://www.nec.co.jp/products/thinclient/support/index.shtml>  
これは、PDFファイルで提供されています。

 PDFファイルを閲覧するためには、Acrobat Reader日本語版が必要です。  
Acrobat Readerはアドビ社のWebサイトから無償でダウンロードすることができます。(https://get.adobe.com/jp/reader/)

ユーザーズガイドでは、本製品を安全に取り扱うための注意事項やスタートアップガイドでは記載されていないセットアップに関する詳細な説明、運用やアップグレードに関する説明が記載されています。また、「故障かな？」と思ったときのトラブル回避の手立てやサービスに関する情報も記載されています。本製品を取り扱う前にぜひお読みください。

## 製品の譲渡と廃棄について

- 第三者への譲渡について  
本製品を第三者に譲渡（または売却）するときは、本書ならびに添付の部品や説明書、ライセンス許諾書などのドキュメントもいっしょにお渡しください。譲渡や売却の際には、必ず渡してください。
- 本製品の廃棄について  
本製品の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。  
詳しくは、各自治体へお問い合わせください。  
なお、装置添付の電源ケーブルにつきましても、他装置への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。

## セットアップの流れ

箱を開けてからシンクライアントが使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

## Step 1 添付品を確認する

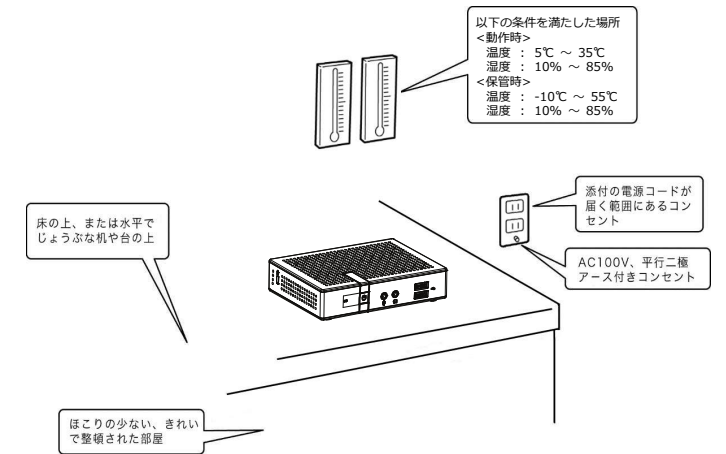
添付品が揃っていることを確認します。

- 本体
- 電源コード
- ACアダプター
- キーボード※
- マウス※
- DVI-VGA変換コネクタ
- スタートアップガイド（本書）
- エンドユーザーライセンス（EULA）
- 保証書
- ご使用時の注意事項

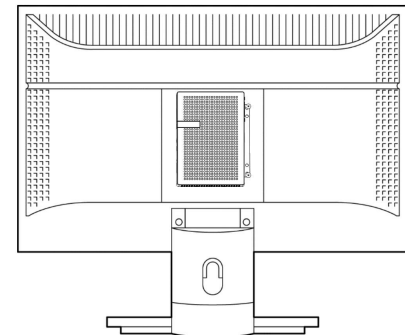
※ ご購入のモデルによっては添付されていません。

## Step 2 本体を適切な場所に設置する

本体の設置場所を決めます。



別売りオプション(N8120-120 LCD背面マウントキット)を使用して本体をLCD背面に設置することもできます。  
詳細については、ユーザーズガイドをご覧ください。

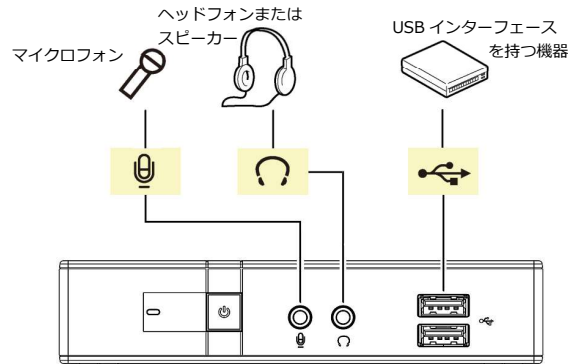


## Step 3 ケーブルを接続する

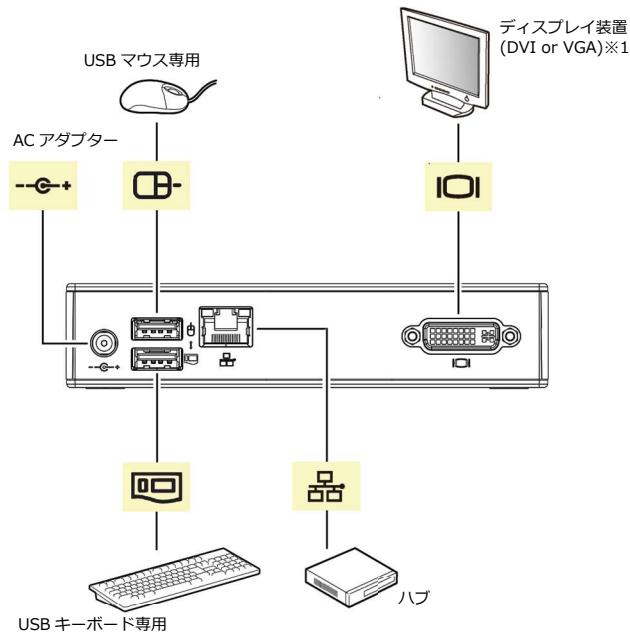
ケーブルを本体に接続します。

本体背面のUSBコネクタは、キーボード/マウスの専用コネクタです。

本体前面



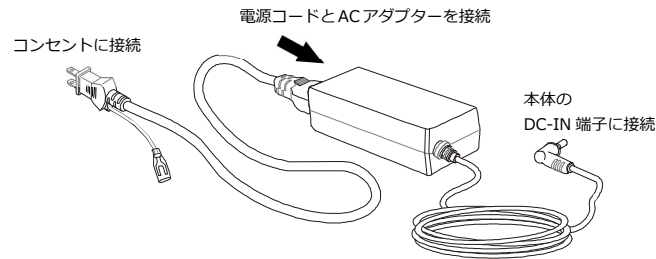
本体背面



※1 VGA インターフェースのディスプレイ装置を接続する場合は、添付の DVI-VGA変換コネクタを使用してください。

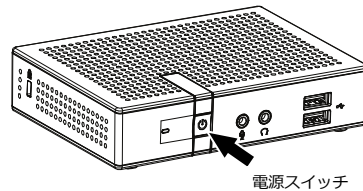
## Step 4 電源を接続する

本体に電源を接続します。



## Step 5 電源をONにする

本体の電源スイッチを押して電源をONにします。



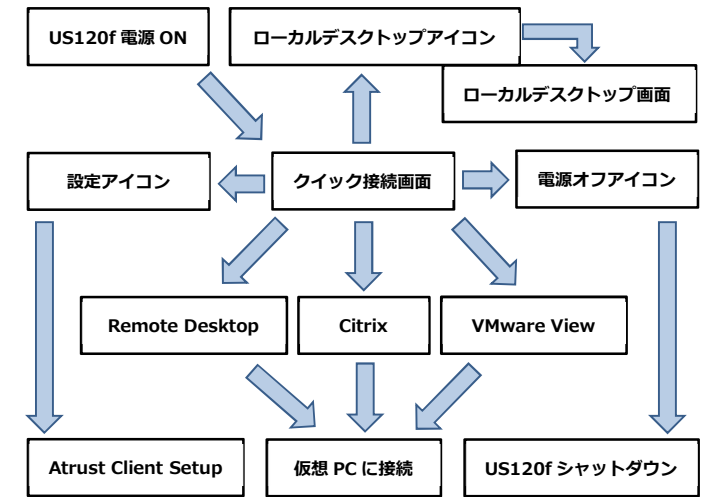
## Step 6 基本的な操作方法を理解する

US120fは、管理サーバー上のINIファイルを使用して管理および設定するように設計されています。使用環境内にある対象のUS120fは、管理サーバーから配布される設定ファイル(INIファイル)を参照して、必要な設定を自動的に取得します。INIファイルを使用せずにUS120fを設定することは推奨されませんが、本書では初回起動時、管理サーバーが設定されていないことを前提に、スタンドアロンモードで起動したUS120fのセットアップ方法について説明します。詳細については「ユーザーズガイド」を参照してください。

- US120fの電源をONにすると、[クイック接続]の画面が表示されます。本画面から仮想PCへの接続、「設定」アイコンからAtrust Client Setupの起動、「電源オフ」アイコンからシャットダウンを行うことができます。
- 「ローカルデスクトップ」アイコンをクリックすると、US120fローカルデスクトップ画面に遷移します。
- Atrust Client Setup ではUS120fの各種設定を行うことができます。

※ 設定によっては、US120fの電源をON後に[クイック接続]の画面がスキップされ、自動でUS120fローカルデスクトップ画面が表示されます。

基本的な操作の動作フローとなります。操作を行う前にご確認ください。



## Step 7 日付と時刻の設定をする

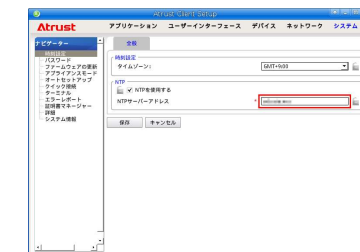
日付と時刻(タイムゾーン、NTP サーバー)を設定してください。各種セキュリティ設定(SSL 通信など)、USB ストレージマッピングによるファイル作成時刻の同期などでローカル時刻を必要とする場合があるため、必ず日付と時刻を設定してください。

- [クイック接続]画面内の「設定」アイコンをクリックし、Atrust Client Setup を起動します。
- 「システム」タブ - 「時刻設定」を選択し、[タイムゾーン]にUS120fをご利用の地域に合わせたタイムゾーンを設定します。

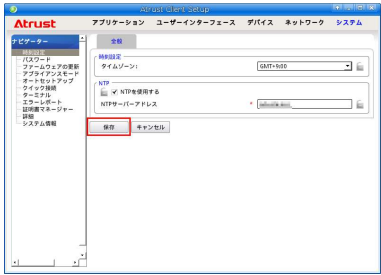
※ 日本国内でご利用の場合、タイムゾーンには「GMT +9:00」を設定します。



- [NTPサーバーアドレス]に時刻(NTP)サーバーのアドレスを入力します。



4. [保存]ボタンをクリックします。

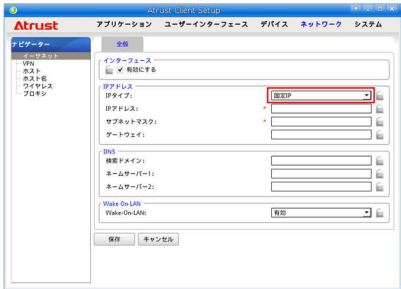


5. Atrust Client Setup を終了します。

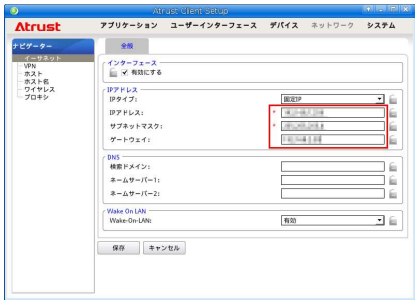
## Step 8 ネットワークを設定する

US120f の初期設定では、ネットワーク設定の IP アドレスは「DHCP」に設定されています。ネットワーク設定を固定 IP に変更する場合は、以下の手順で変更してください。「DHCP」を利用する場合は、本手順は不要です。

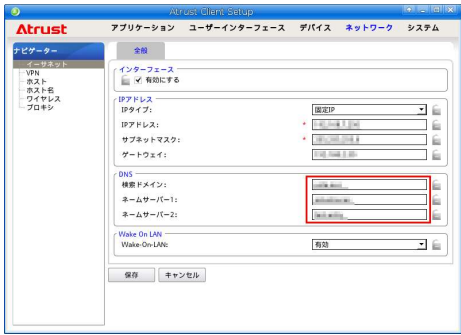
1. [クイック接続]画面内の「設定」アイコンをクリックし、Atrust Client Setup を起動します。
2. 「ネットワーク」タブ - 「イーサネット」を選択し、[IPタイプ]を「固定IP」に設定します。



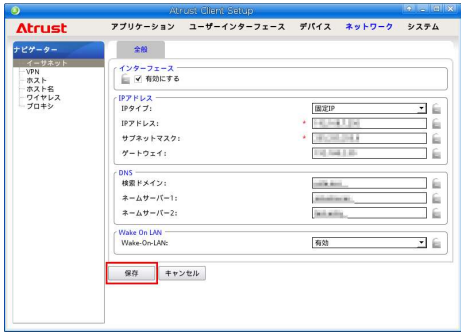
3. IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをご使用の環境に合わせて設定します。



4. DNSサーバーを利用する場合は「DNS」の検索ドメイン、ネームサーバー1、ネームサーバー2をご使用の環境に合わせて設定します。



5. 「保存」ボタンをクリックします。

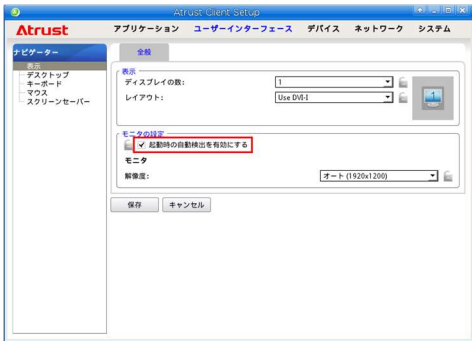


6. Atrust Client Setupを終了します。

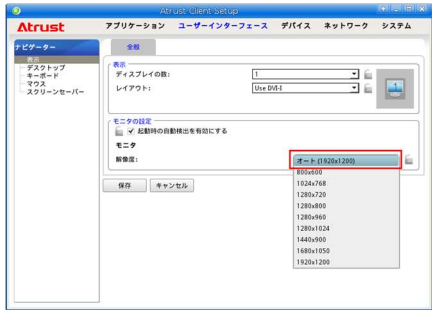
## Step 9 ディスプレイ解像度を設定する

ご使用のディスプレイに合った解像度を設定します。本書では Display Data Channel(DDC)によって接続されているディスプレイに最も適した解像度が自動で設定されるように設定します。

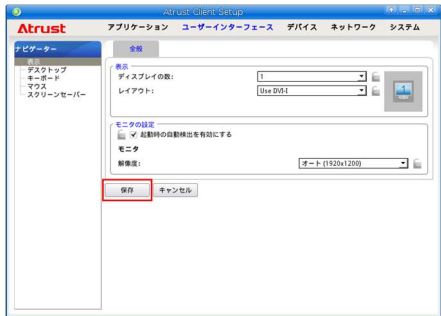
1. [クイック接続]画面内の「設定」アイコンをクリックし、Atrust Client Setup を起動します。
2. 「ユーザーインターフェース」タブ - 「表示」を選択し、[起動時の自動検出を有効にする]にチェックを入れます。



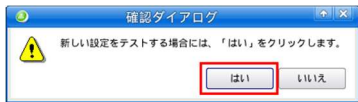
3. 「解像度」のリスト一覧から「オート」を選択します。



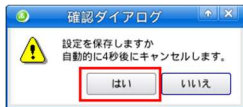
4. 「保存」ボタンをクリックします。



5. 設定をテストする確認ダイアログが表示されるので「はい」ボタンをクリックします。



6. 表示に問題がないことを確認し「はい」ボタンをクリックします。



7. Atrust Client Setupを終了します。

## Step 10 仮想PCに接続する

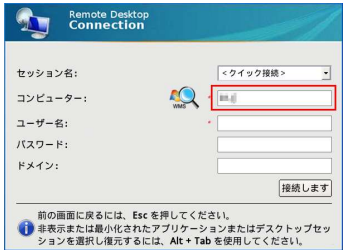
仮想PCに接続します。本書ではリモートデスクトップ接続を使用して仮想PCに接続する手順を記載しています。

1. [クイック接続]画面内の「Remote Desktop」をクリックします。

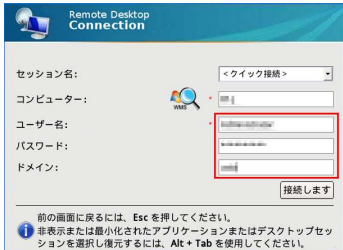




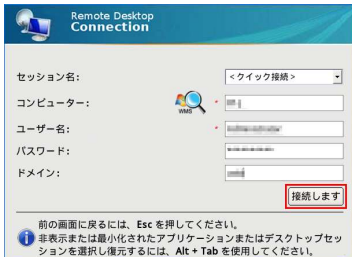
2. 「コンピューター：」に接続先仮想PCのコンピューター名またはIPアドレスを入力します。



3. 「ユーザー名：」、「パスワード：」、「ドメイン：」を入力します。



4. 「接続します」ボタンをクリックします。



5. 仮想PCに接続され、仮想PCのデスクトップ画面が表示されます。



6. 仮想PC上の各種プログラムを使用することができます。

## Step 11 仮想PCからサインアウトする

仮想PCでの作業を終える場合は、仮想PCのデスクトップ画面の左下にマウスポインタを移動し、右クリックメニュー内の「サインアウト」を選択します。



仮想PCからサインアウトすると、US120fの[クイック接続]画面に戻ります。

※ サインアウトの方法はOSによって異なる場合がありますので接続先仮想PCのOSに合わせたサインアウトを実施してください。本書では接続仮想PCとして Windows 8.1 に接続した場合のサインアウトの方法を記載しています。

## Step 12 US120fをシャットダウンする

[電源オフ]アイコンからUS120fをシャットダウンします。

1. [クイック接続]画面内の「電源オフ」アイコンをクリックします。



2. 「シャットダウン」をクリックします。



3. US120fがシャットダウンされます。

## Step 13 お客様登録をする

インターネット (ClubExpressサイト) よりお客様登録を行ってください。

<http://club.express.nec.co.jp>



また、シンククライアントをはじめとするさまざまな製品の情報は以下のインターネット情報サイトにあります。ご覧ください。

[NECコーポレートサイト] <http://www.nec.co.jp/>

以上でシンククライアントのセットアップは完了です。

シンククライアントを末永くご利用ください。

シンククライアントに関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。(電話番号のかけ間違いが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。)

ファーストコンタクトセンター TEL. 03-3455-5800 (代表)

受付時間 / 9:00~12:00、13:00~17:00 月曜日~金曜日 (祝祭日を除く)

<本製品の利用目的について>

本製品は、高速処理が可能であるため、高性能コンピューターの平和的利用に関する日本政府の指導対象になっております。ご使用に際しましては、下記の点につきご注意いただけますよう、よろしく願いいたします。

- 本製品は不法侵入、盗難等の危険がない場所に設置してください。
  - パスワード等により適切なアクセス管理をお願いいたします。
  - 大量破壊兵器およびミサイルの開発、ならびに製造等に関わる不正なアクセスが行われるおそれがある場合には、事前に弊社相談窓口までご連絡ください。
  - 不正使用が発覚した場合には、速やかに弊社相談窓口までご連絡ください。
- 弊社相談窓口ファーストコンタクトセンター (電話番号 03-3455-5800)

<注意>

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

V C C I - B

<回線への接続について>

本製品を公衆回線や専用線に接続する場合は、本製品に直接接続せず、技術基準に適合し、認定された通信カード等の通信端末機器を介して使用してください。

<電源の瞬時電圧低下対策について>

本製品は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し、不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置 (UPS) 等を使用されることをお勧めします。

<日本国外でのご使用について>

本製品は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本製品を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に對し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

商標について

Microsoft およびWindows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

CitrixおよびCitrixの製品名は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMwareおよびVMwareの製品名は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Atrust は Atrust Computer Corporation の商標です。

その他の製品名は、すべてそれぞれの会社の商標または登録商標です。本ドキュメントでは、(R) とTM の表記を省略しています。

このマニュアルは再生紙を使用しています。

NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。

© NEC Corporation 2017